

名 誉 会 員 追 悼



故 名誉会員 坂尾 弘 先生

社団法人日本鉄鋼協会名誉会員、名古屋大学名誉教授、工学博士 坂尾弘先生は、去る平成23年1月29日、病気のためにご逝去されました。享年87歳でした。

先生は昭和21年名古屋帝国大学工学部金属学科をご卒業後、名古屋大学大学院特別研究生を経て、同25年名古屋大学工学部講師、同33年同助教授、同38年同教授となられ、37年の永きにわたり教育と研究の両面にわたって多大な貢献をされ、昭和62年3月定年により退官、名古屋大学名誉教授の称号を授与されました。

この間、先生は化学冶金学の教育、研究に努め、卓越した指導力と真摯な人柄をもって、後進の指導、人材の育成に努力を傾注され、その薫陶を受けた俊秀は広く学界及び産業界において優秀な教育・研究者、技術者として活躍しています。また、先生は昭和56年4月から2年間名古屋大学評議員として大学全般の管理運営に参画されるとともに名古屋大学大学院委員会、名古屋大学総合言語センター共同利用委員会、名古屋大学総合保健体育科学センター運営委員会等の委員を歴任される等大学行政に貢献されました。

先生のご研究領域は金属の物理化学とその応用に関する分野で、精錬工学の学問的体系化に意欲的に取り組まれました。先生の主要なご研究は以下のとおりです。

(1) ガス―メタル間反応平衡に関する研究 (2) 溶鉄の脱酸反応並びに非金属介在物に関する研究 (3) 溶融合金並びに固体合金の熱力学に関する研究 (4) 新しい測定法による金属溶液の諸性質の研究 (5) 耐火物に関する研究 (6) ガス―メタル間反応速度に関する研究 (7) 溶融合金の拡散に関する研究

これらの業績により昭和36年に名古屋大学から工学博士の学位を授与されました。また日本金属学会より昭和38年に功績賞を、昭和49年には金属の製錬反応の物理化学的研究に対して谷川・ハリス賞を授与され、日本鉄鋼協会からは、平成元年に西山賞を授与され、平成6年には同協会名誉会員に推挙され、その業績は高く評価されております。

先生は、研究活動のみならず、本会の運営にもご尽力され、理事、編集委員長及び東海支部長等を歴任し、本会の発展に貢献されました。また、日本学術振興会の各種委員会の委員として産学共同研究に貢献され、特に第19委員会においては、委員会内に製鋼反応の平衡推奨値検討委員会を組織して推奨値の決定・編集に尽力されると共に、昭和55年副委員長、同60年からは委員長として指導的役割を果たされました。

このように、先生は永年にわたって金属工学の発展に取り組まれ、不朽の足跡を残されると共に、工業教育並びに研究に誠意をもって尽くされ、我が国の学界、産業界の発展に全生涯をささげられました。この功績により、平成12年4月に勲三等旭日中綬章を授与され、平成23年1月29日に正四位に叙せられました。

先生が鉄鋼科学技術と本会の発展に尽くされた多大な業績に対して感謝し、会員一同衷心からの哀悼の意をささげ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成23年9月

日本鉄鋼協会 会長 友田 陽